

COVID19 合併症としての気胸について

Ann Thorac Surg 2020;110:e413-5.

Eur Respir J 2020;in press(<https://doi.org/10/1183/13993003.02697-2020>)

Clin Med 2020;20:e60-1

COVID-19 の治療中または後遺症として続発性気胸が数%に発症することがわかってきています。ドレナージや外科的治療の際には呼吸器外科医が担当することになりますので、適宜情報を提供していきたいと思っています。手術適応や時期については通常の適応に加えて、感染の有無、発症からの期間などを考慮して決定する必要があります。感染期にある患者の手術には、適応をよく考えて Full-PPE での対応に加え、デルタ株感染蔓延期においては圧手術室で行うことも検討する必要があろうかと思えます。感染者の胸腔ドレナージにおいては、ドレナージ回路にウイルス除去フィルターの接続が有用との報告もあります。

理事長 吉野一郎